

世界最大級の食品製造総合展

FOOMA JAPAN 2023

INTERNATIONAL FOOD MACHINERY & TECHNOLOGY EXHIBITION

2023年6月6日（火）～9日（金）の4日間 東京ビッグサイト 東展示棟全館で開催

2022年9月1日(木)より出展申込受付開始！

食品製造に関わるソリューションを世界一取り揃える

イノベティブなFOOMA JAPANへ

2023年は“Accelerate FOOMA”（FOOMAを加速させろ）をテーマに 出展社のビジネスマッチングを加速させます

一般社団法人 日本食品機械工業会（東京都港区／会長：大川原 行雄）は、2023年6月6日（火）～9日（金）の4日間、東京ビッグサイト 東1～8ホール(66,410㎡)を使用して「Accelerate FOOMA（FOOMAを加速させろ）」をテーマに、「FOOMA JAPAN 2023」を開催いたします。毎年4日間の開催で、約10万人規模の来場者・約2万社の食品製造加工業者の来場を迎え、会期中に来場者との商談があった出展社は9割を超えております（2022年実績）。前回の3年ぶりの東京開催では過去最多の出展社数を数え、46回目を迎える今回は出展社のビジネスマッチングをさらに加速させて参ります。

つきましては、来年の本展の開催に向けて別紙（出展のご案内）の通り、来たる2022年9月1日（木）より出展申込受付を開始いたします。募集の対象は、全21分野+1ゾーンで、出展申込受付締切は正会員、賛助・団体会員が2022年10月28日（金）、一般は2022年11月7日（月）、スタートアップゾーンは2022年11月7日（月）です。

出展社のビジネスマッチングを加速させる“Accelerate FOOMA”

食品産業が抱える課題は多様化を増しています。その状況に対応すべく、FOOMA JAPAN 2023は“Accelerate FOOMA（FOOMAを加速させろ）”をテーマに掲げました。出展社が最新技術の魅力を来場者にアピールできる機会を創出し、新規顧客獲得、営業売上向上に直結する施策に加え、ビジネスマッチングをさらに加速させるプログラムを出展社に多数提供していきます。また前回新設のスタートアップゾーンもスペースを拡充し、さらに加速させることで、ビジネスマッチングの可能性を上げていきます。

イノベティブな取組もさらに加速する FOOMA JAPAN 2023

1.次世代産業の創出”スタートアップゾーン”の加速 新ソリューションの魅力を幅広くアピール

オープンイノベーションの一環として次世代ビジネスの創出を促進する「スタートアップゾーン」。2022では、イノベティブなテクノロジーやアイデアを生み出している設立9年以内のスタートアップ18社が出展し、新しいソリューション発掘の場として食品業界から大きな注目を集めました。出展社からも大変好評をいただき、2年目の今回はスペースを拡充させ、新技術や特許、革新的アイデアを持つベンチャー企業、研究機関の出展をお待ちしています。



FOOMA JAPAN 2022のスタートアップゾーンの様子

2.FOOMAアワード2023 目に見える成果達成、PRの契機に

出展製品の中から優秀な研究・開発を顕彰し、その技術の利用促進を図ることで食品機械産業・食品産業の進行に寄与することを目的に2022より創設された「FOOMAアワード」。受賞製品は高いPR効果を得られ、販売促進、成果達成の契機にもなっています。



FOOMA JAPAN 2022の表彰式・受賞製品の紹介展示の様子

出展社のビジネスマッチングを加速させるサポートプログラム

NEW

来場者データをリアルタイムに収集できる「FOOMAコレクト」を出展料に含め、全社に提供！



“Accelerate”ポイント

事前登録された来場者データをスマホで読み取り、一瞬でリード獲得。名刺交換などの手間が省け、収集したデータを基に営業が開始できるため、ビジネスマッチングを加速させます。

■公式WEBサイト+FOOMAアプリ

- ・食品製造総合サイトとして通年運用し、会期前、会期後もビジネスマッチングを生み出します。
- ・来場者との繋がりを生み出すFOOMAアプリは、会期前から見込み客と繋がり、ブースへの誘引を高め、ビジネスマッチングを加速させます。



■展示会ブース 360° バーチャルツアー

- ・リアル会場の出展ブースを遠隔地のPCやスマホから体験できるバーチャル展示。
- ・360°カメラで撮影したブース内画像を自由に訪問してもらうツアー。
- ・遠方の顧客見込み層にも最新技術の魅力をアピールできます。



■出展社プレゼンテーションセミナー

- ・自社の最新製品やソリューションに関心がある顧客見込み層に直接プレゼンできる場。
- ・展示ブース内では難しい情報を公開でき、新規顧客発掘に繋がります。(1セッション45分間 (有料))



開催概要

名称：FOOMA JAPAN 2023

2023 International Food Machinery & Technology Exhibition

目的：食品機械・装置及び関連機器に関する技術ならびに情報の交流と普及をはかり、併せて食品産業の一層の発展に寄与することとし、「食の安全・安心」に関心が高まる中、食品機械の最先端テクノロジー、製品、サービスを通して、「食の技術が拓く、ゆたかな未来」を提案する。

会期：2023年6月6日(火)～9日(金)の4日間 午前10時～午後5時

会場：東京ビッグサイト 東1～8ホール

規模：874社/34,723㎡ (2022年実績) ※出展社数は共同出展社を含む

入場料：完全来場事前登録制

※未登録の場合は当日券として1,000円(税込)

テーマ：Accelerate FOOMA

主催：一般社団法人 日本食品機械工業会

後援：経済産業省/農林水産省/厚生労働省/東京都/日本貿易振興機構 (順不同・予定)

公式サイト：<https://www.foomajapan.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大の影響等で、展示会の開催日時、場所、方法等に変更がある場合がありますので予めご了承ください。

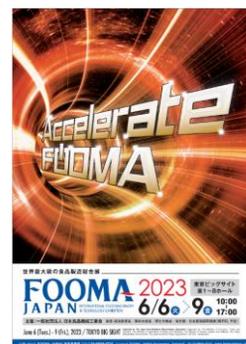
※ポスター、キービジュアル、ロゴ、2022年の展示会などの画像をご希望される方は、公式サイト内報道専用ページ「PRESS ROOM」(9月1日よりOPEN予定)にてダウンロード可能です。

▼URL：<https://www.foomajapan.jp/pressroom/>

▼報道関係者共通ID：fooma2023press

▼報道関係者共通PW：Fjpr1m

末筆ながら、1社でも多くの企業が、新製品・新技術・新サービスの発表の場としてFOOMA JAPANを活用されますよう、貴紙誌でのご紹介を賜りたく、ここにお願ひ申し上げます。



一般出展要項

【申込期間】

◆ 一般申込受付期間

2022年9月1日（木）～11月7日（月）まで。

申し込み多数の場合は、出展製品・サービス、出展規模、過去の実績、必要とする設備・附帯事項などを考慮して、主催者により出展社を決定します。

◆ 正会員・賛助・団体会員申込受付期間

2022年9月1日（水）～10月28日（金）まで。※当日消印有効

【申込方法】

出展申込はオンライン方式での受付となります。申込フォームに入力していただき、オンラインで申込ください。

※オンライン申込方式については、9/1公開のFOOMAJAPAN2023公式WEBサイト（foomajapan.jp）の「出展に関するお問合せ」からお問合せください。

【申込方法問い合わせ先】

FOOMA JAPAN 運営事務局 03-6809-3745

【出展料】

一般出展料：下記の6タイプ（A～H）の中から選択。タイプA（約7.5㎡／¥297,000税込）が1単位。

タイプ	単位数	㎡数	出展料（税込）	タイプ	単位数	㎡数	出展料（税込）
A	1	約7.5㎡	¥297,000	E	6	約45.0㎡	¥1,782,000
B	2	約15.0㎡	¥594,000	G	9	約67.5㎡	¥2,673,000
D	4	約30.0㎡	¥1,188,000	H	12	約90.0㎡	¥3,564,000

※詳しくはFOOMA JAPAN公式サイト（<https://www.foomajapan.jp>）、またはFOOMA JAPAN運営事務局（03-6809-3745）までお問合せください。

【出展募集対象（下記の21分野+1ゾーン）】

①原料処理

混合・攪拌・混練機、粉碎・分級・造粒機、ふるい機・網、乾燥機、殺菌装置、熱交換機、脱水機、ニーダー、ホモジナイザー、開袋機など

②食品製造・加工

①「菓子・パン」：オープン、ミキサー、焼成機、成形機、デポジッター、ドゥコンディショナー、蒸し器、包・製あん機、コーティング機、テンパリング機、スライサー、製パンラインなど

②「食肉・水産物」：スライサー、カッター、チョッパー、ダイサー、テンダーライザー、ミキサー、成形機、ソーセージ・ハム充填機、ハンバーグ成形機、インジェクター、スタッパー、タンブラー、魚体処理機、燻煙・熟成室など

③「麺類」：製麺機、即席麺製造プラント、パスタ製造機、餃子・ワンタン・焼売・包子製造装置、茹上機など

④「惣菜・調理食品」：オープン、フライヤー、炒め機、蒸し機、焼成機、加熱攪拌機、炊飯機、形成機、粉付機、寿司・おにぎり製造機器など

⑤「飲料・乳製品」：飲料プラント、濾過装置、果汁飲料製造装置、搾汁機、飲料充填機、飲料滅菌装置、濃縮装置・乳化装置など

⑥「農産物」：野菜・果物洗浄機、精米機器、洗米機、カッター、スライサー、千切り機、皮むき・芯取り機、選別機、異物除去装置など

⑦「豆腐」：豆腐プラント、豆乳プラント、脱臭機、フライヤー、油揚製造機、湯葉製造機、焼豆腐製造機豆腐用型箱、納豆製造機など

Press Release



【報道関係資料】

FOOMA JAPAN 運営事務局広報担当

2022年8月25日

⑧「発酵・醸造」 : 蒸留装置、圧搾機、均質機、乳化装置、発酵用タンク、発酵室、製麴機など

⑨「その他 食品」 : 卵割機、ゆで卵殻剥機、油濾過機、油塗装置、食品用印刷機、高圧食品製造機など

③エンジニアリング

工場設計・設備エンジニアリング、HACCP 管理システム、植物工場、RFID、トレーサビリティなど

④ロボット・IoT・フードテック

ピッキングロボット、パレタイジングロボット、協働ロボット、自律移動ロボット、ロボットアーム・ハンド、AI、コントローラ、IO-Link、IoT/M2M、食品工場用ソフト・システム、システムインテグレーション、スマートキッチン OS、フードロスシステム、代替技術、フードデータなど

⑤鮮度管理・品質保持

予冷・冷凍・冷却・凍結装置、解凍装置、チラー、冷蔵・保冷库、貯蔵設備、紫外線・オゾン応用装置、殺菌・滅菌装置、空調装置など

⑥包装・充填

各種包装機器、充填機、計数・計量機、結束機、シーラー、インクジェットプリンター、印字機、ラベルシール機、包装資材など

⑦保管・搬送・移動

コンテナ、コンベア、ベルト、チェーン、リフト、選別機、運搬車両、ホース、ポンプ、タンクなど

⑧計測・分析・検査

計測機器、分析機器、検査機器、検出機器、測定・試験機器、画像処理機器、センサー、異物検査・除去装置など

⑨衛生対策・管理

施設・容器・器具洗浄機器、機能水生成装置、クリーンルーム、シートキャッチャー、ユニフォーム、異物・害虫混入防止機器・装置、洗剤・薬剤、衛生資材など

⑩環境対策・リサイクル

排水処理装置、エネルギー有効利用システム、ごみ処理装置、コンポスト化機器・システム、乾燥機、再資源化処理装置・技術、減容機器、リサイクル機器、污泥処理装置・技術など

⑪設備機器・技術・部品

ボイラー、バルブ・継手、ノズル、タンク、ホース、モーター、潤滑油、添加剤、熱風発生機、膜および膜利用技術、フィルター、床材、監視カメラ、LED照明など

⑫コンサルタント・特許

商品開発、衛生管理、食品施設、食品表示、品質表示、HACCP、廃棄物処理、食品安全、エネルギー・特許情報配信、特許移転、最新特許開示など

⑬情報サービス・団体

新聞・雑誌・書籍・映像、調査・研究・試験、団体・機関、自治体など

FOOMA JAPAN 2023 INTERNATIONAL FOOD MACHINERY & TECHNOLOGY EXHIBITION

「スタートアップゾーン」出展要項

FOOMA JAPANはオープンイノベーションを推進 “新たな食のカタチを共に創ろう” 出展申込受付中！

FOOMA JAPANは2022年にオープンイノベーションを推進するべく、スタートアップゾーンを新設いたしました。フードソリューションを改革する新技術や革新的アイデアをもつベンチャー企業、企業内スタートアップ部門や研究機関などの技術提案の場として、共創、協業、投資パートナー達の出会いを支援していきます。2年目の今回は、イノベティブな皆さまがより多く参加できるようにスペースを拡充いたしました。

< FOOMA JAPANスタートアップゾーンとは >

食品機械・設備に限らず、Tech・IT・AI等の最新テクノロジーを組み込んだ画期的な製品やプラントベースなど、革新的技術で開発された幅の広い食に関わる製品・技術・サービスが出展対象となります。

1. 出展対象

・自らが開発・企画に携わり、革新的な製品・技術・サービスを保有し、新しいビジネス成長を目指している日本国内の企業・団体・機関

ベンチャー企業、スタートアップ企業、大学・研究機関など

- ・設立9年以内の企業
- ・ 商社、卸売業、小売業は対象外
- ・ 日食工正会員・賛助会員・団体会員は対象外

2. 出展製品

- ・ 現在商用化している製品。または3年以内に商用開始見込みの製品
- ・ 自社ブランド製品であること
- ・ 形態、実物の製品に限る
- ・ 試作品、ソフトウェア、オンラインサービス等も出展可能
- ・ 企画・設計、コンセプトレベルの製品は対象外



3. 出展製品カテゴリー

- ・ 幅広く食に関わる製品・技術・サービスであること

4. 出展申込受付締切

- ・ <オンライン申込> 2022年11月7日（月）23時59分59秒

5. 出展申込と出展社の決定

- ・ 出展申込はオンライン申込方式での受付となります。
- ・ 出展申込受付後、主催者にて出展社を決めさせていただきます。

6. 出展料

- ・ 100,000円（税込）
- ・ パッケージ型イージーブース（2m×2m=4㎡）付。ピッチプレゼンステージ利用料も含む。

7. ピッチプレゼン付

- ・ 来場者に紹介するピッチプレゼンを会期中1回（20分間）行うことができます。

出展について詳しくは、公式WEBサイトwww.foomajapan.jpもしくは
E-mail: notification@foomajapan.jpをご覧ください。

または、FOOMA JAPAN運営事務局03-6809-3745へお問い合わせください。

Press Release



【報道関係資料】

FOOMA JAPAN 運営事務局広報担当

2022年 8月25日

< 出展に関するお問い合わせ先 >
FOOMA JAPAN 運営事務局

TEL : 03-6809-3745
(受付時間 : 月~金 10:00~16:00)

FAX : 03-6809-3746
E-mail : notification@foomajapan.jp

<https://www.foomajapan.jp>

< 本資料に関するお問合せ先 >

FOOMA JAPAN 運営事務局 広報担当
(カーツメディアワークス内) 担当 : 大越・小石
TEL : 03-6427-1627 E-Mail: foomajapan@kartz.co.jp

< 掲載紙誌などの送付先 >

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目27-5
リンクスクエア新宿 16階 WeWork気付
(株)カーツメディアワークス

※掲載日が決定いたしましたら、大変お手数ではございますが上記事務局広報担当までご一報くださいますようお願い申し上げます。なお、甚だ勝手なお願いで恐縮ですが、掲載紙を上記事務局広報担当まで1部ご送付賜れば幸いに存じます。